

瓦
瀬戸毘沙門天

28号

平成19年12月
瀬戸毘沙門天王

初詣

一月一日〜三日

松原天撰大権現

天撰堂完成

紆余曲折がありました。今年中に外形ができあがりました。ほんとうにありがとうございます。工事をしながら、局所に毘沙門天王様のお力を体験させていただきました。多くの方のご協力の賜物です。



平成十九年十二月十七日天撰堂完成

正面に祖父の写真と遺骨をお祭りし、瀬戸毘沙門天王さまと永代にわたって一緒に供養を希望される方は事務局に申し出てください。

瀬戸毘沙門天王、御降臨五十一年を迎えて、昨年より境内の整備をしてきました。草を一本ずつ抜きながら気づかしていただきました。一本ずつなら抜けますが、まとめて抜くことは困難です。何事も「一」から「一」ということだと思いましたが、「チリも積もれば山となる」という諺がありますが、本当にそうだなということを実感しました。真理は一つだと思えました。どんなに複雑なことでも真理は一つです。あわてないで単純に整理することが大切だなと思いました。

十一月から天撰堂の建立をしてきました。松原天撰大権現様は、昭和五十二年十二月二十八日に島根県日原で亡くなられました。天撰様の遺骨の半分お大師堂に今日までお祭りしていました。

天撰堂を建立したいと願っていました。ある方から多額なお供えがあり実現の運びになりました。

貧困からの

脱出

フィリッピンのマニラに行き始めて十九年になります。

最初からマニラの貧困状態は今日でも変わりません。目に見えない精神的なものが変わらなないように思います。

かつてわが国は、「奈良の大仏」として知られている奈良市の東大寺金堂の本尊「東大寺盧舎那佛像」が建立されています。当時国は乱れていました。そこで、聖武天皇が発願して国家の安泰を願われた。国を護る經典である「金光明最勝王経」をよりどころとして、国分寺、国分尼寺を全国にたてた。

そんな歴史を考えると、現在のフィリッピンに何か不足している。奈良の大仏さんに学んで何か出来ないかと考えている。ヒントを得て現代のマニラを「人間として豊かな生活が出来るよう」考えています。

瀬戸町はかつて東大寺の瓦を作った跡があります。本当に誇りにしたいですね。

時は見えない。昨日の時は反省・感謝。

明日の時は我が心にあり。

お火たきまつり

一月十五日(火)